

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	特進選抜	必修			古典探究	単位	4	
学習目標	<p>・文語の決まり(歴史的仮名遣い、用言、助動詞の活用、係り結び、敬語、和歌、識別など)を理解し、覚える。</p> <p>・訓読の決まり(訓点、書き下し文、各種句法、重要語)を理解し、漢文の構造を把握する。 ・古典に親しむことにより、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育み、ものの見方や考え方を広げる。</p> <p>・古典知識をしっかりと習得し、模擬試験などでの得点力を養い、大学入試に対する実力がつくようにする。</p>									
使用教科書	古典探究(数研出版)	副教材	体系古典文法・体系漢文(数研出版)				予定時間数	140		
単元と内容										
1学期	オリエンテーション									
	<p>[古文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本文法の確認、補足 助詞の意味 <p>[漢文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 句法、重要語句 <p>[古文・漢文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の読解(説話・物語・故事成語・寓話) 		<ul style="list-style-type: none"> 古文においては用言の活用はすべての基本となるので確認し、。そのうえで助動詞の活用もすべて覚えていく。 重要な助詞の意味を覚えていく。 書き下し文と音読徹底し、基本句形と重要語句を覚えていく。・古典作品に親しむと同時に、あくまでも大学入試を想定して各作品を読解する。 文法問題や句法なども作品の中で確認し、解答力を高める。 							
2学期	<p>[古文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語 敬語と和歌、読解問題の演習 <p>[漢文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代の史話・漢詩・伝奇など 句法、読解問題の演習 <p>模擬試験問題演習</p>		<ul style="list-style-type: none"> 入試にもよく採用される作品を通して、読解力・解答力を身に付ける。・敬語と和歌を学び、作品を深く読めるようにするとともに入試対策も行う。 少し長めの文章を書き下し文にし、大意をつかめるようにする。・重要句法の知識を増やしていき、本文読解や解答力につなげる。 私立大学一般入試へ向けた応用力を育成する。 							
3学期	<p>[古典]</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習 紛らわしい語の識別、句法のまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> 私立大学一般入試へ向けた応用力を育成する。(現代語訳、人物の心情読解、歴史的背景など) 基礎知識の定着度を確認する。 							
評価										
評価の観点			評価の趣旨				評価対象			
							1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能		書き下し文や古典品詞分解などを正確に書くことができる。				○	○	○	
			古典の読解に役立てるため、古典文法や古典常識、単語などの知識を身に付けている。							
②	思考力・判断力・表現力		論理的に文章を読み取り、自分ものの見方や考え方を深めたりしている。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度		古典に対する関心を深め、自ら知識を習得し古典に親しもうとする。				○	○	○	
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力				③ 主体的に学びに向かう態度			
	定期考査 80 %		定期考査 80%				口頭試問 100%			
	相互評価 10%		各種発表・まとめ 20%							
	各種提出 10%									

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	特選選抜	選択形態	必修	科目	論理国語	単位	3
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の論理的読解方法を確認し、筆者の考えを理解する。 ・解答の根拠を説明できる力を身に付ける。 ・記述の基本的事項を身に付ける。 								
使用教科書	論理国語(数研出版)	副教材	論理エンジン・現代文読解基礎ドリル				予定時間数	105	
単元と内容									
1学期	オリエンテーション								
	評論 論理エンジン	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の論理的読解方法を確認し、筆者の考えを理解する。 ・一文や文章の構造を知り、論理的な読解を実践していく。 ・解答の根拠を説明できる力を身に付ける。 ・記述の基本的事項を身に付ける。 							
2学期	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な評論文を読み、論理構造や筆者の主張を読み取る。その際、問題演習にも取り組み、解答力を向上させる。 ・文章を読み、要点を押さえてまとめる練習をする。演習形式の授業で入試突破力の基礎を身に付ける。 							
		・評論演習問題を通して、小説の読解方法やポイント、解法を細かく学んでいく。							
3学期	大学入学共通テスト演習	<ul style="list-style-type: none"> ・副教材を利用しながら、共通テストに対応できる読解力を身に付ける。 							
		・演習問題を通して、解答力を向上させる。							
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	国語の伝統的な文化や語句に触れ、意味や用法を的確に理解することができる。				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	様々な文章に触れて、論理的な思考力を身に付けることができた。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	興味関心を広げるために積極的に読書活動を行い、自己の問題と関連付けて捉えることができる。				○	○	○	
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度			
	定期考査	60%	定期考査	60%		口頭試問 60%			
	相互評価	15%	各種発表・まとめ	20%		各種発表・まとめ 40%			
	各種提出	25%	口頭試問 20%						